

サイタマレディース探検隊「県庁の星・部長の輪！」シリーズ

第5回 埼玉県 会計管理者 岩橋 薫 様 平成23年7月12日取材

シリーズでお届けしています「県庁の星」も、5回目となりました。今回は、4回目にご登場いただいた土屋綱男県民生活部長から「県庁の星」初の女性、会計管理者の岩橋さんをご紹介いただきました。



【会計管理部のお仕事】

会計管理部のお仕事がまったく想像できず当日を迎えた探検隊でしたので、まずは「どのようなお仕事をされているのか」を率直に伺いました。

「財務会計処理の適正の管理です」と、にこやかにお答えくださったのですが、ますます「???」。もう少しわかりやすく具体的に、とお願いしたところ「財務会計処理の検査・研修・相談」と「公金の管理と運用」をされているとのことでした。

県庁では、財務処理はその事業・プロジェクトごとに行い、特に財務処理だけを行う担当部門はおかないそうです。そのため、各事業やプロジェクトごとにその事業やプロジェクトの担当職員が財務会計や契約などの財務処理等を行います。そのために会計監査部では、職員全員が正しい財務会計や契約書の知識を持つための研修を開催し、職員からの相談に応じ、正しく実施されているかの検査を行っています。

さらに「公金の管理と運用」は、私たちの家計でいえば、日々の家計簿と貯蓄の管理というお仕事です。大切な公金ですので、コンプライアンスの確保、より効率的な財務処理、自治法にのっとった会計の実施を行うことが肝要となります。県庁では、日々約6,700億円のお金が動きます。また、昨年の運用の実績は35億6,000万円にのぼったそうです。このように「必要なときに必要な金額を動かす」「安全確実に運用する」ために必要な管理を行っています。

【なにもなくてあたりまえ】

新聞などのインタビューもたくさん受けるそうですが、終了時に「今後もよろしく願いします」や、「また取り上げてくださいね」などの挨拶で締めることはないそうです。かわりに、「この後、なるべくお会いしないように・・・」という挨拶をされるのだそうです。それは、もう会いたくないということではなく“なにもなくてあたりまえ、何かあってはいけない部署だからこそ、何かあってのインタビューや、新聞などの紙面を飾ることがあってはいけない”という気持ちからの言葉とのことでした。

大切な公金を管理する部署だからこそその心意気、心構えを象徴しているエピソードです。

【モチベーションの維持と日々の取り組み】

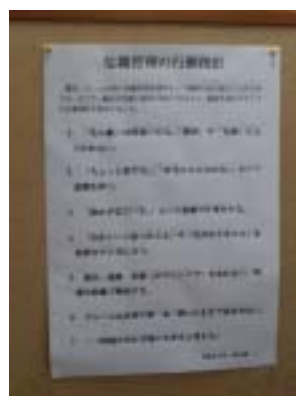
では、「何もなくてあたりまえ」な部署で、日々、粛々と仕事を進める職員の皆さんのモチベーションはどのように維持しているのでしょうか。

1つは「相手を認めること」。岩橋さんは常に部署の皆さんの当たり前をほめる、認めるようにしているそうです。細心の注意と専門的な知識を必要とし、それでも、なかなか数値や業務の達成感を味わうことのない部署だけに、コミュニケーションを密にとることで、「あなたの仕事ぶりを見ています」「よくやってくれていることをわかっています」という承認の気持ちを発信するそうです。

「相手を認めること」はとても大切なことですね。

2つ目は「小さなことから進めること」。研修や検査だけでなく、たとえば「公用車の事故をなくす」などの取り組みを行っています。公用車で事故があると、大切な公金を使うことになるからです。

1つ1つ、小さいけれど大切なことを積み重ねて、公金管理に取り組んでいっしょにいきます。



【人として】

「女性管理職として道を切り開いてくださった大先輩のご苦労があればこそ、今の自分がある」という気持ちを忘れず、後進の育成にも積極的に取り組んでいっしょにやる岩橋さんです。男女を問わず後輩の方々には「大変だと思うけれど、もうちょっと頑張れば達成できる」そんな少しだけハードルの高い仕事に取り組み、自分の幅を広げてほしい、と話していっしょにしました。「力のある人が、その力以上を発揮する」そんな組織で、社会人としての責任と達成感をより多くの後輩に経験してもらいたい、そのような気持ちで後輩指導を行っているそうです。

また、子育てと仕事の両立については「大変だったけれどみんなに育てていただいた」とおっしゃいます。現在、子育てのための制度は整ってきていますが、子育ての孤立化を懸念されていました。家庭でも職場でもそのほかのコミュニティでも、困った時に「助けて」と言える環境の整備が必要であるし、働く女性ももっと様々なリソースの活用に目を向けてもよいのかもしれない。

さわやかな白いジャケットをお召しになり、にこやかに迎えてくださった岩橋さんでした。お話を伺って、女性管理職としてではなく、人として、社会人として日々の業務に、しなやかにまた真摯にあたられるお姿にとても感動した探検隊でした。